

(1)児童の体力の現状

男子	小5	○握力では県平均を0.68点上回っている。 ○50m走では、0.29点県平均を上回っている。 ○シャトルランでは県平均を3点以上上回った。 ●立ち幅跳びでは県平均を7点以上下回り、瞬発力に課題がある。 ●長座体前屈や反復横跳びではおよそ3点下回っており、柔軟性と瞬発性に課題がある。
	他学年	○3.4年生の50m走では県平均を上回っており走力はある程度あることがわかる。 ●反復横跳び、上体起こし、ソフトボール投げでは全ての学年で県平均を下回っている。
女子	小5	○握力では1.5点以上県平均を上回った。 ○長座体前屈と50m走ではわずかに県平均を上回った。 ○20mシャトルランでは1.5点県平均を上回り、男子とともに持久力が優れている。 ●上体起こし、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げで県平均を下回る。
	他学年	○握力ではほぼ全学年で県平均を上回っている。 ●シャトルラン、ソフトボール投げでは全学年で県平均を下回った。 ●長座体前屈では低中学年全てで県平均を下回った。

(2)令和元年度の具体目標の達成状況と課題

○ボールなどの学校備品を整備することで、学校生活全般において運動量を増やすとともに、運動経験を積む機会を増やすことができた。また投げることに興味関心がもてるようにストラックアウトを自作して取り組んだり、授業で投げる動きについて取りあげたりした。

○連合体育大会、器械運動発表会に向けて、高学年全員で取り組むことにより、体力向上や運動経験を増やすことを目指した。

○児童会と連携を図り、縄跳び大会を実施することで冬季の体力づくりを行った。

○体づくりとして、姿勢体操や5種目歩走に継続して取り組んだ。

○シャトルラン大会を設定し、毎学期シャトルランを行った。そして記録表でどれだけ向上したか分かるようにした。

●日常的な体力づくりにつながる活動が不十分だった。

●めあてと振り返りを行う授業を十分に実践できなかった。

●児童同士でコツを伝え合う活動など、児童が関わりあう活動が不十分であった。

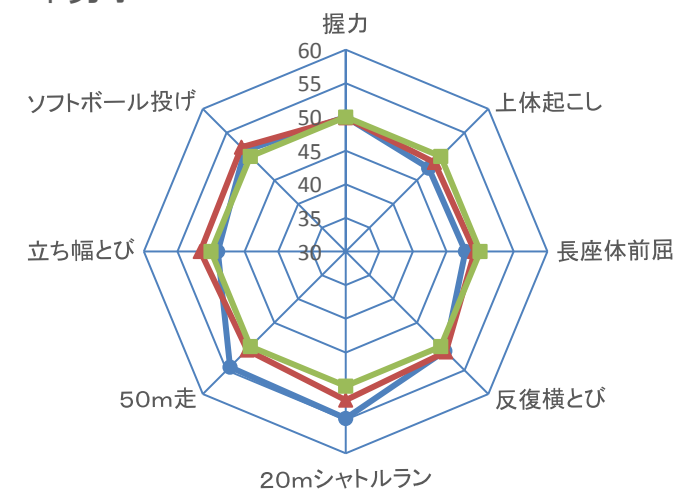
(3)令和2年度の取組【対策】

- ①学校における取組
- ・授業でめあてと振り返りを意識させ、目的意識をもって体育学習ができるようにする。(継続)
 - ・持久力の維持・伸長をねらいとし、ある期間の体育の時間、継続的に持久走の記録を計り、記録や変化がわかるようにする。(マラソン記録会)
 - ・年度当初、姿勢体操、5種目歩走の内容、実施方法を検討し、継続して取り組む。
 - ・スムーズな投動作習得のための教具やなわとび用ジャンピングボードなど運動する環境を整えていく。
- ②地域や家庭との連携による取組
- ・町内運動会に参加し、地域と家庭とともに体力向上に努めていく。
 - ・学校での取組を紹介し、地域・家庭の協力を得る。
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
- ・チャレンジ週間を充実させ、生活習慣を見直し、改善していく。(継続)
 - ・体格のデータと生活習慣との関連性を把握し、特に気になる児童について家庭との連携を図る。

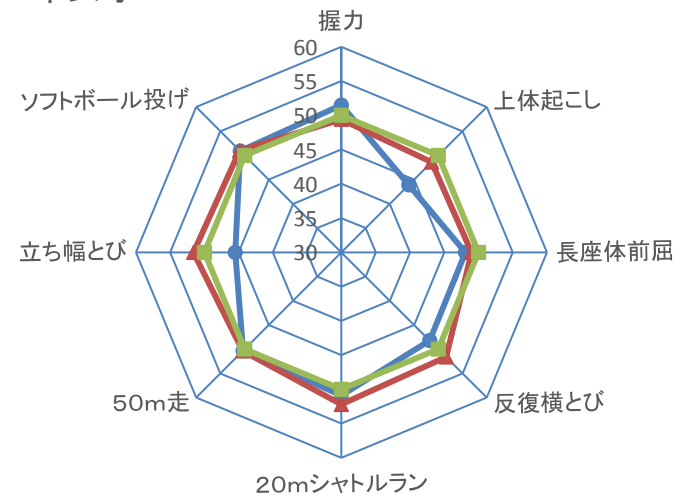
調査実施者数(人) 1年(男子20・女子22) 2年(男子23・女子21) 3年(男子19・女子23)
4年(男子26・女子17) 5年(男子21・女子32) 6年(男子25・女子17)

(4)5年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

5年男子 ●竹矢小 ▲島根県 ◆全国



5年女子 ●竹矢小 ▲島根県 ◆全国



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 5年生意識調査の結果

(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)

